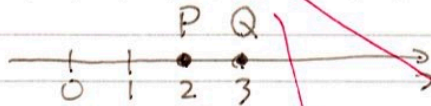


① 座標と座標系

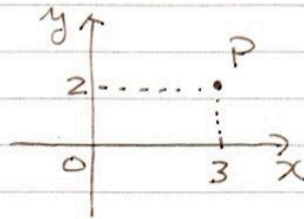
○ 座標: 点の位置を指定する数の組

・ 1次元



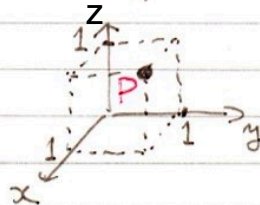
1次元のときは1個
 $P \rightarrow 2, Q \rightarrow 3$

・ 2次元



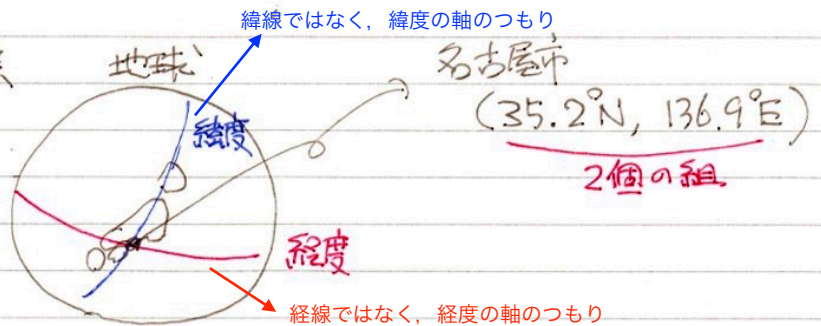
2次元のときは2個の組
 $P \rightarrow (3, 2)$

・ 3次元



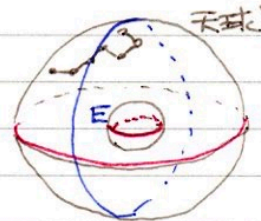
3次元 \rightarrow 3個の組
 $P \rightarrow (1, 1, 1)$

・ 地理座標



2個の組

・ 天球座標 ... 天文学



2個の組
キリは入らない

○ デカルト 「方法序説」 1637

○ ライオンズ, "co-ordinate (座標)"

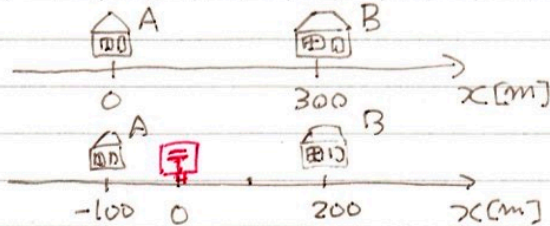
★ 座標の表現方法は1通りではない。

\rightarrow 様々な座標系

① 座標と座標系

◦ 座標系 : 座標を表現する形式.

・ 1次元

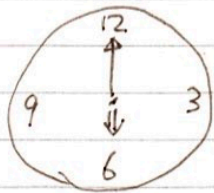


A → 0
B → 300

A → -100
B → 200

A → -0.1
B → 0.2

原点や単位の
取り方によって表わされる
座標は異なる.



長針 →

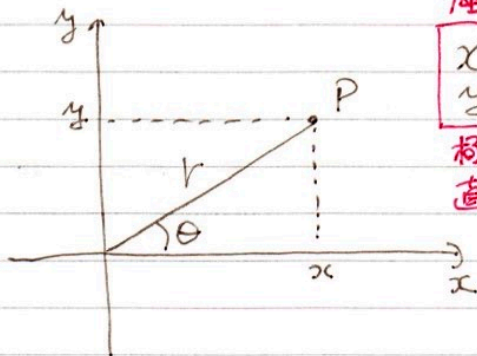
12 → 3 → 6 → 9 → 12
0° → 90° → 180° → 270° → 360°

短針 →

0分 → 15分 → 30分 → 45分 → 60分
0時 → 3時 → 6時 → 9時 → 12時

1次元座標 (円座標)

・ 2次元



座標変換

$$x = r \cos \theta$$

$$y = r \sin \theta$$

極座標から
直交座標への変換の式

$$r = \sqrt{x^2 + y^2}$$

$$\theta = \text{sgn}(y) \arccos \left(\frac{x}{\sqrt{x^2 + y^2}} \right)$$

直交座標 → 極座標

r一定
θだけ
位置
を表現

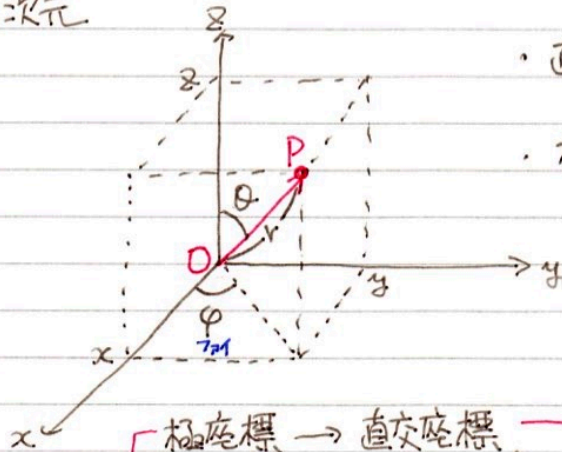
◦ 直交座標系 (デカルト座標系) $P(x, y)$

◦ 極座標系 $P(r, \theta)$

① 座標と座標系

◦ 座標系 : 座標を表現する形式

◦ 3次元



◦ 直交座標系 (デカルト座標系)

$$P(x, y, z)$$

◦ 極座標 (球座標) 球座標

$$P(r, \theta, \varphi)$$

球座標
r 固定

φ と書くとある

P(θ, φ)
本質的に
2次元

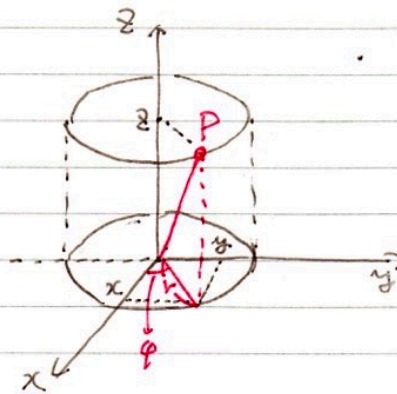
極座標 → 直交座標

$$\begin{cases} x = r \sin \theta \cos \varphi \\ y = r \sin \theta \sin \varphi \\ z = r \cos \theta \end{cases}$$

逆も値になる

$$\begin{cases} r = \dots \\ \theta = \dots \\ \varphi = \dots \end{cases}$$

地理座標
と同じ



◦ 円筒座標

$$P(r, \varphi, z)$$

円筒座標 → 直交座標

$$\begin{cases} x = r \cos \varphi \\ y = r \sin \varphi \\ z = z \end{cases}$$

① 座標と座標系

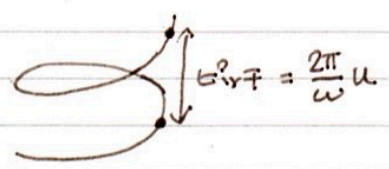
◦ させん運動

◦ 3次元直交座標系

$$\begin{cases} x = l \cos \omega t \\ y = l \sin \omega t \\ z = ut \end{cases} \quad \begin{matrix} \text{定数} \\ (l, \omega, u > 0) \end{matrix}$$

◦ z軸上方から見たら、もしくは運動をxy面に投影したと見ると2次元等速円運動

◦ 1回転の周期 = $T = \frac{2\pi}{\omega}$



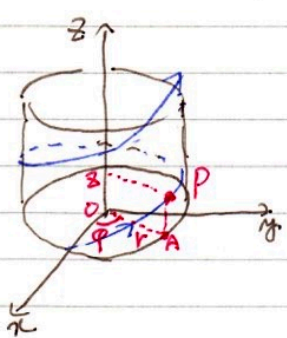
◦ させんのピッチ = $L = z(t+T) - z(t)$

$$= u(t + \frac{2\pi}{\omega}) - ut = \frac{2\pi}{\omega} u$$

◦ 3次元円筒座標系

$$\begin{cases} r(t) = l \text{ (一定)} \\ \varphi(t) = \omega t \\ z(t) = ut \end{cases} \Rightarrow \begin{cases} \dot{r}(t) = v_r(t) = 0, \ddot{r}(t) = a_r(t) = 0 \\ \dot{\varphi}(t) = v_\varphi(t) = \omega, \ddot{\varphi}(t) = a_\varphi(t) = 0 \\ \dot{z}(t) = v_z(t) = u, \ddot{z}(t) = a_z(t) = 0 \end{cases}$$

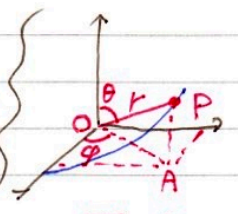
$$\vec{r} = \vec{v} = (0, \omega, u), \quad \vec{r} = \vec{a} = \vec{0}$$



cf.) WolframAlpha

$l = \omega = 1, u = 1/10$ とし
ParametricPlot3D[{Cos[t], Sin[t], t/10}, {t, 0, 6 * Pi}]

cf.) 3次元極座標系



$OA = l$
 $PA = ut$
 $OP \cos \theta = PA$
 $\therefore \cos \theta = \frac{PA}{OP} = \frac{ut}{r}$

$$\begin{cases} r(t) = OP = \sqrt{OA^2 + PA^2} \\ = \sqrt{l^2 + (ut)^2} \\ \theta(t) = \arccos\left(\frac{ut}{\sqrt{l^2 + (ut)^2}}\right) \\ \varphi(t) = \omega t \end{cases}$$

① 座標と座標系

○ 運動座標系

○ ニュートンの第1法則 (運動の第1法則) (予告編)

すべての物体は、外力によつてその状態を変えられない限り、静止の状態、あるいは一直線上の ~~一直線上~~ の一様な運動の状態を、そのまま続ける。

→ 慣性の法則

inertia 物体が持つ速度を保持し続けようとする性質

→ 座標系 (原点や軸) が動いていたら成り立たない!

cf.) 「赤の女王 / 鏡の国のアリス」 → 進化論における「赤の女王仮説」

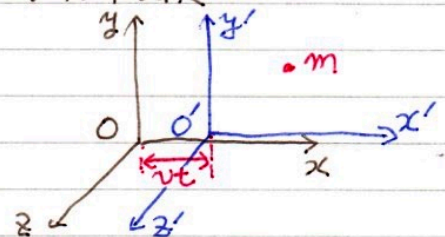
→ 慣性の法則が成り立つ座標系 を古典力学では使わなくてはならない。

↓
慣性系

○ ガリレイの相対性原理

ある慣性系に対して等速度で動く座標系は慣性系

○ ガリレイ変換



$$\begin{cases} t' = t & (\text{時間はそのま}) \\ x' = x - vt \\ y' = y & (y, z \text{ はそのま}) \\ z' = z \end{cases}$$

静止系 O と 運動座標系 O'
(O系に対して速さ v で x 軸正方向へ等速直線運動)

質量 m の O系を静止している物体は O'系では x' 負の方向に速さ v で等速運動し続ける。

→ O'も慣性系

○ ニュートンの第2法則 (運動方程式, 運動の第2法則) もガリレイ変換のもとで不変

ガリレイ変換 $\begin{cases} ma = m\ddot{x} = F \text{ (x成分)} \\ ma' = m\ddot{x}' = m \frac{d^2(x-vt)}{dt^2} = m\ddot{x} = F \end{cases}$ 不変

速度 (速さ) $v(t) = \dot{x}(t) \rightarrow v'(t) = \dot{x}' = \frac{d(x-vt)}{dt} = \dot{x} - v = v(t) - v$

速度はガリレイ変換のもとでは不変ではない

- $v \rightarrow c$ (光速) ではガリレオ変換の予測は成り立たない!
 - アインシュタイン「光の速さを光を見たら?」
 - 光速不変の法則 (マイケルソン・モーリーの実験)
光はどの座標系を見ても同じ速さ。



ローレンツ変換

$$\begin{cases} t' = \frac{t}{\sqrt{1-(v/c)^2}} - \frac{v/c^2}{\sqrt{1-(v/c)^2}} x \\ x' = -\frac{v}{\sqrt{1-(v/c)^2}} t + \frac{1}{\sqrt{1-(v/c)^2}} x \\ y' = y \\ z' = z \end{cases}$$

$v \ll \overset{c}{\cancel{v}}$ のとき $v/c \approx 0, \frac{v}{c^2} \approx 0$ で
ガリレオ変換に帰着

→ ガリレオの相対性原理は $v \ll c$ のとき
に近似的に成り立つ

- 光速を不変に保つローレンツ変換による相対性原理



特殊相対性理論



慣性系以外に拡張

一般相対性理論